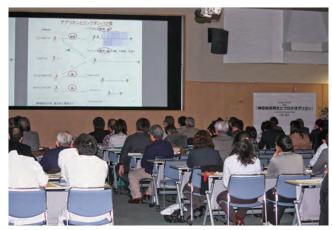
## 第1回高等研究院レクチャーを開催

第1回高等研究院レクチャーが、3月12日(木)、医学部 附属病院中央診療棟3階講堂において、本学教職員・学生・ 一般市民など約140名の参加を得て開催されました。本レ クチャーは、学内教員、大学院学生等を対象とする高等研 究院の学術講義であり、今回初めて行われたものです。

当日は、近藤院長のあいさつの後、神経再生医療の最新



レクチャー会場の様子

研究成果について、2名の講師による講演が行われまし た。従来、神経はいったん損傷を受けると同復しないと考 えられていました。しかし、最近の研究から神経細胞は再 牛できることがわかり、さまざまな研究が進んでいます。 まず、門松健治医学系研究科教授が、「神経軸索再生とプ ロテオグリカントと題して、脊髄損傷の治療法の現状およ びプロテオグリカンによる軸索再生の阻害機構等につい て解説しました。続いて、岡野栄之慶應義塾大学医学部教 授が、「iPS細胞を用いた神経再生戦略」と題し、脊髄指 傷の根本的な治療法として期待されている iPS 細胞による 治療法の現状について分かりやすく講演しました。同教授 は、iPS細胞を用いて、脊髄損傷で脚がまひしたマウスを 歩けるまで回復させることに成功し、iPS細胞の効果を証 明しました。この実験結果にも触れ、脊髄再生への応用に ついて解説しました。それぞれの講演後には、活発な質疑 応答が行われ、最後に、高橋雅英医学系研究科教授が閉会 の辞を述べて終了しました。参加者から、「理解しやすかっ た|「これからも積極的に参加したい|との感想が多数寄 せられており、大変有意義なレクチャーとなりました。